

原発と放射線問題の学習会が連続的に開かれています

第57回通常総代会で、特別決議「エネルギー政策の抜本的な転換を求める」を採択したことを受け、組合と事業所で元理事長の片山健氏を講師に招き「原発と放射能」の連続学習会が開催されています。南診療所の公開講座、水島歯科での全体学習に続き、7月6日には組合全体学習会「原発と放射能」を水島協同病院で開催し、職員約60名が参加しました。片山氏は水島協同病院における放射線検査の初代責任者であり、科学者の視点で原子力発電とはどのようなものなのか、福島第一原発で何が起きているのか、日本のエネルギー政策はどうあるべきか、を分かりやすく説明。参加者は、「テレビの解説では疑問だらけだったが、本当によく分かった」と大好評でした。引き続き、玉島協同病院臨時全体学習や県連新入職員フォロー研修会等で、学習会が予定されています。



ウラン235の説明をする片山健氏

被災生協にお見舞い金1億円、組合から180万円拠出

大震災から5カ月近くが経過し、被災生協も本格的な復校が地域住民から求められています。医療福祉生協連は被災生協に対する復興資金支援を行うことを決め、半額を連合会より、残りの5千万円を会員生協が受け持つことになりました。組合は、この方針に積極的に応え180万円を拠出しました。

郡山医療生協に放射線測定器を

医療福祉生協連の呼びかけで、福島県の生協支部に放射線測定器を送る運動が始まっています。組合としては郡山医療生協の1支部に測定器を送ることになっています。ちょうど5月から健康事業部の職員となった高野氏が、郡山医療生協から来られたと言うこともあり、福島県名産物の販売カンパ活動もはじまっています。

1支部1万円募金運動も提起されており、引き続き義援募金と併せご協力をよろしく願いいたします。義援募金は第二次分を6月末で締め、140万円を全日本民医連と医療福祉生協連に送金しました。



東日本大震災募金集約 7/31

水島協同病院	1,438,442
玉島協同病院	869,974
健寿協同病院	339,750
ふれあい診療所	198,352
南診療所	119,934
阿新診療所医科歯科	76,702
くらしき診療所	55,144
水島歯科診療所	267,289
玉島歯科診療所	79,963
真備歯科診療所	58,380
児島歯科診療所	75,202
くらしき歯科診療所	50,091
高梁歯科診療所	16,982
レインボー	30,856
DC亀島	7,803
組合事務所	475,115
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
支部	385,875
合計	4,625,690

医療を中心とした緊急支援から長期の被災者支援活動に

全日本民医連と医療福祉生協連は、いずれも5月の定例理事会で東日本大震災に関する現時点でのまとめを行い、医療・介護を中心とした緊急の人的支援については5月末で終了し、今後は中長期のボランティアなどの生活支援・季節ごとの生活物資提供・義援募金の継続等の活動に取り組んでいくことを決めました。

倉敷医療生協では3月から5月にかけて宮城県坂病院を拠点に、医師・看護師をはじめ19名・延べ108日にのぼる人的支援を行ってきました。また、老問研から仮設住宅へ移転するための生活支援要請を受け、鍋や食器類などの物資提供も行いました。今後とも、民医連・医療福祉生協連からの情報提供や方針提起に積極的に応え、支援活動を継続していきます。

来週は夏の一時金が. . . あなたの気持ちを被災された方々に！

大震災から3カ月が経過しますが収束されない原発問題も含め、今日なお全ての被害状況が掌握出来ないほど深刻な被害からの復興は、行政の手腕はもとより粘り強い支援の輪が求められています。被災地に思いを寄せ、左表のとおり多くの募金が寄せられ、4月15日には全日本民医連と医療福祉生協連に150万円ずつ送金をしました。5月以降も少しずつ募金が寄せられていますが、やはり時間が経過するとともにペースが落ちてきています。

現在は義援金運動が支援活動の中心となっており、ちょうど来週は夏の一時金が支給される時期です。この期に、もう一回りの募金をお願いいたします。今月中に第二次の義援金を送金する予定です。新たな募金袋も準備し、ご協力をよろしくお願いいたします。



3次支援の志賀さんが撮った写真より

東日本大震災募金集約

水島協同病院	1,410,900
玉島協同病院	847,052
健寿協同病院	339,750
ふれあい診療所	190,448
南診療所	119,934
阿新診療所医科歯科	67,215
くらしき診療所	55,144
水島歯科診療所	233,514
玉島歯科診療所	20,934
真備歯科診療所	58,380
児島歯科診療所	75,202
くらしき歯科診療所	50,091
レインボー	30,856
DC亀島	7,803
組合事務所	401,836
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
支部	385,875
合計	4,374,770

6月1日現在

玉島協同病院 松井 博さんの報告（3次支援）

逆に勇気をもらった気が 被災された方のお話に胸がいっぱいに

・4/19～24まで倉敷医療生協第三次医療支援チームとして塩釜市と多賀城市の間にある宮城民医連の拠点の坂総合病院に5人で行きました。到着時は昼過ぎという事もあり支援は20日から本格的に始動という形でオリエンテーションを本部の方にして頂き、5人で塩釜市の震災状況を地元のタクシーの方に案内してもらいました。まず最初に七々浜海水浴場付近にいきました。沿岸沿いという事もあり住宅は全て崩壊、一面壊滅状態でブラウン管で見るよりも想像を絶する世界が広がってました。タクシーの運転手さんの自宅は高台にあったため、地震の被害はあったそうですが、津波の被害はなかったと言われてました。でも地域の友人、親戚などが行方不明や亡くなられたと、辛い胸の内を話してくださいました。

・4/20より支援スタートしました。初日は私は朝と夜、多賀城市文化センター避難所でフットケア、マッサージをしながら被災者の方々のお話を聞かせて頂きました。小中学校は次の日より始業式の為、文化センターには570人以上の被災者方がいらっしゃいました。「あの日の事を思い出すと、夜が眠れない」「誰もいなくて一人になっちゃった」「パンやおにぎりだけで野菜が食べたい」・・・たくさんのお話を聞かせて頂き胸がいっぱいになる思いでした。被災者の方は体調を崩されている方も多く、又、長い避難生活で普段より血圧が高めのように、8割の方が炭水化物ばかりで栄養不足だそうです。1日も早い、国・自治体を上げての住民目線の復興を願っています。少しでも元気や勇気を被災者の方々にという思いで、今回支援に行かせて頂きました。4日間の私達が、いろいろな事を学び逆に勇気を貰ってる気がしました。今後も支援チームをニーズに合わせ、全国の民医連の仲間達で協力して行きたいと思えます。最後に今回の東北大地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福とともに、1日も早い復旧を心よりお祈りいたします。

《4次支援》

野津山さんからのメール

凄まじい被災地の光景

無事到着しました。

1人なので不安で心細かったですが、岡山協立の中桐先生も来られており、ホッと一安心。昨日は中桐先生と、坂総合病院から一番近い被災地に見学に行かせて頂きました。

その光景は凄まじく、2人とも言葉がでないほどで、被災された方々の心の傷は計り知れないとあらためて実感しました。

現在の支援状況は、医療支援は少なくなり、生活支援、精神的ケアが主となっているそうです。今日はOFF日だったので、実際は明日からの活動になります。がんばります。 5/15

《水島協同病院

・看護師 野津山 仁美》



メール添付の写真

5月の人的支援予定

5月以降の人的支援要請は、宮城では坂病院のみに縮小。医療面で落ちついてきたため、要請人数も少なくなり、5月は以下の3名が参加する予定です。



水島協同病院の野津山さん(右)と河原さん

5月14日(土)～18日(水)

水島協同病院・看護師 野津山 仁美 さん

5月19日(木)～23日(月)

水島協同病院・看護師 村上 幸恵 さん

5月18日(水)～20日(金)

水島協同病院・事務 河原 京 さん

東日本大震災募金集約

水島協同病院	1,371,700
玉島協同病院	829,902
健寿協同病院	339,750
ふれあい診療所	185,448
南診療所	96,933
阿新診療所医科歯科	67,215
くらしき診療所	48,588
水島歯科診療所	181,341
玉島歯科診療所	20,934
真備歯科診療所	36,000
児島歯科診療所	55,890
くらしき歯科診療所	47,789
レインボー	30,856
DC亀島	7,803
組合事務所	395,720
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
支部	377,287
合計	4,172,992

5月12日現在

宮城県塩竈からのたより

地震から、初めてよく眠れた セラピスト足浴しながら健康チェック

<概要>

- ・4月20日・21日と多賀城文化センターへ避難所訪問。
- ・スケジュールとしては、自衛隊の医療班が午後に診療をおこなうため、午前:9時半~12時、夜:18時~20時の時間帯で診療・足浴を実施。
- ・足浴チームとしては、20日午前に39人、20日夜に56人、21日午前に30人、21日夜に52人の対応をする。

<状況>

- ・だいぶりピーターが多い。
- ・午前中は外出される方も多く、少ない傾向にある。
- ・夜は、就寝前で疲れた下肢をリラックスさせたいと利用する方が多く、大変喜ばれている。
- ・21日よりリハチームができる。リハの介入としては、文化センターでは、PT宮城県士会より個別リハや集団体操などの介入があることを考慮し、足浴チームとして関わりながら、以下を重点的に行なっている。

- ①足浴中で診察等必要と判断した場合は、診療チームへ伝達する。
- ②水虫の方が多いためなるべく乾燥・清潔を保つこと、筋疲労の方も多いため、足底のセルフマッサージのポイントや足指ジャンケンなどの体操をアドバイスする。
- ③高齢者の利用も多いため、浮腫や可動域制限への対応も時間を少し長めにとって行なう。
- ④合間に各部屋を廻り、足浴の放送が聞こえない方や移動が困難な方、必要を感じていないけれど対応を要す方などを積極的に声をかける中で掬い上げ、足浴の利用を促す。
- ⑤ポスター作成、利用待機の方々への円滑な誘導を心掛けるなど、利用しやすい環境を整える。
- ⑥県士会のセラピストに個別対応してもらいたい方の情報を、施設にあるリハカルテに記入する。

<感想>

どうしても支援者メンバーが日々変わっていく現状がある反面、支援活動全体として日数を重ねている分、被災者への提供の質を下げないように配慮することが求められていると感じる。

「いつものように」と期待しておられる方々に応えることができるよう、支援初日だとしても一人ひとりが機転を利かせた具体的な行動をとることが必要であるように思う。

ただ、やはり被災者の方々からいただく感想には、自分が励まされる。

「足浴を夜にしてもらったら、地震が起きてからはじめてよく眠れた」という声や、「地震が起きる前は、こんなにありがたさを感じることもなかってなかった」という声もあり、利用された方々に本当に喜ばれている活動へ参加していることを嬉しく感じる。

地震で辛い目に遭っても、前向きに生きようと奮闘する姿に、生き続ける決意の頼もしさと、いつも希望を捨てない逞しさを学んだ。

支援の日数は、折り返して残り2日。

引き続き、体調を崩さぬよう、しかし沢山の笑顔で活動を続け

労働組合 理学療法士 福田広史



足湯ポスター作成し案内する福田さん(中央)

住民目線の復興願う

本日は足浴チームではなく長町クリニックの引っ越しのお手伝いを男性4人でしてきました。エレベーターが使えない為、手作業で3階から1階にDrの机、長いす、本棚などおろし病院の方へ運びました。クリニックはすべての撤去に5千万かかり、また新しく作るには33億円いるとのこと。引き続きフォローが必要だと感じました。他のチームの報告で、多賀城市体育館には今現在446人の被災者が、いらっしやいます。体調を崩されている方も多いため、足浴、マッサージの需要は大きいようです。1日も早い、自治体をあげての住民目線の復興を願っています。
・4/21 玉協介護福祉士 松井博

東日本大震災募金集約

水島協同病院	1,346,289
玉島協同病院	804,946
健寿協同病院	339,750
ふれあい診療所	170,448
南診療所	96,933
阿新診療所医科歯科	50,393
くらしき診療所	48,588
水島歯科診療所	148,221
玉島歯科診療所	20,934
真備歯科診療所	36,000
児島歯科診療所	55,890
くらしき歯科診療所	11,789
レインボー	20,300
DC亀島	7,803
介護事業部	36,725
健康事業部	264,344
総務部	351,000
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
合計	3,890,189

4月18日現在

4月19～24日、医療に加え介護分野の支援も求められ

組合第三次人的支援チーム5人決まる

全日本民医連は4月2日に開催した臨時理事会で新たなステージに対応した支援方針を決め、8日付で5月を展望した指示を出しました。今後は、地協ごとに要請された職種・人員数を県連で調整し送り出していきます。引き続き医療支援を行いながら、介護分野での支援も求められており、第三次の支援以降はこういった要請に応えるチーム編成となります。

4月19日から24日に予定している、組合からの第三次の人的支援のメンバーは下記のとおりです。13日には医療生協会館で結団式が行われ、二次支援の井上博和さんより現地の状況や支援内容、注意事項などの説明を受け決意を固めあいました。

第三次支援チームの5人 (敬称略)

5月支援計画として県連より要請されている人員

2日(月)～7日(土) 看護2・事務他1

14日(土)～19日(木) 看護2・介護1・事務他1

26日(木)～31日(火) 看護1・介護1・事務他1

志賀 雅子 (水島協同病院MSW)
井上 京子 (水島協同病院看護師)
松井 博 (玉島協同病院介護福祉士)
山本 鈴子 (健寿協同病院介護福祉士)
福田 広史 (労働組合理学療法士)

支援チームへの参加者を募集しています!

震度6の地震を体験、坂病院からのたより(メール)

感謝はこちらから 8・9日 井上博和サブリーダーより

昨夜、震度6の地震あり。大きな揺れ、壁の剥離、全館停電。5人無事。対策室に集合、トリアージ班の結成等テキパキとした指揮。5人はそれぞれ活躍、患者の移送などにあたる。本日も予定通り支援が行われています。今日の行動は地域訪問・炊事班に変更、課題は50人分の食事を電気なしで一度に作れるか?やりました。

大災害。来る前は何か出来ることはないか?その思いが強かった。来てみてそれは、驕りだったと。安否確認・足浴・炊飯・復興作業。

いつも『ありがとう』と言われ、気付かされたつながることの意味。連帯の大切さ、人間賛歌を教えてください。感謝はこちらから。



支援チームは帰りに被災地を回って帰ってきます

民医連と生協連に義援募金送金_引き続き募金にご協力を

義援募金が三百万を超えましたので一次分を送金。一層のご協力をお願いします。

東日本大震災募金集約^{4/13現在}

水島協同病院	1,341,636
玉島協同病院	804,946
健寿協同病院	341,422
ふれあい診療所	170,448
南診療所	87,576
阿新診療所医科歯科	50,393
くらしき診療所	48,588
水島歯科診療所	148,221
真備歯科診療所	36,000
児島歯科診療所	55,890
くらしき歯科診療所	11,789
レインボー	20,300
DC亀島	7,803
介護事業部	36,725
健康事業部	264,344
総務部	349,000
労働組合	28,000
ケアハウスちどり	51,836
合計	3,854,917

塩竈 第二次医療支援チームからのたより（メール）

原田幸枝先生（医師）より

6日は窓からの日ざしといびきで6時半に覚醒。集団生活ならではの。朝食はパンとバナナ、トマトにコーヒー。しっかりいただきました。8時半からミーティング。9時から坂クリニックでの初診外来を担当。診察10名、薬のみ5名。午後は2時から。

4月6日

坂総合病院での内科外来です。続きは夕方送ります。坂病院、午後の診療はウォークインの方のみ。二時間半で15名、医師2名で対応なので余裕はあります。（救急車は別の医師が対応します。）

4月7日

川崎佑真さん（看護師）より

本日は塩釜の公民館へ避難所訪問へ行ってきました。午前中殆どは自宅に帰られたり、次の住居を探したりとさしていました。残っているのは高齢者と子ども達だけでした。子供は隣接した公園で遊んでおり、高齢者も自由気ままに過ごされていました。業務内容はまず診察所の設営。廊下の一部使用してしました。カルテも無いので、紙の申し送り用紙からカーボン用紙に記載。診察では主に血圧測定。主訴を聞きカルテに記入。ぐらいでした。別部隊が足浴を行っており、好評で毎日のように参加される方が多いそうです。マッサージなども好評らしく次回はアロマオイルなど用いたマッサージが良いかと思えます。午後は足浴と部屋周りを行いました。足浴では気持ちいいや感謝の言葉が聞かれました。診察に来なかった方を伺い血圧測定や世間話をしたりとていきました。別の部隊は清拭、沐浴を行って行きました。以上が今日の行動です。 4月6日

井上博和さん（放射線技師）より

坂病院旧館のクリニック6階体操教室に薄いマットに寝袋と毛布、衣食住すべてこの上。避難所と似ている。悩みは野菜不足といびき。でも帰る当てのある私達は、、足浴サービス。気持ちいいをはげましに。多賀城文化センター張紙紹介。17時半～20時半までひたすら、足浴。外の自衛隊からお湯を貰い、外の水道で適温にし、足マッサージと石鹸で洗う。タオルで拭いて、靴下はかせて終了。45人。目が回った。「ありがとう」の言葉に疲れも癒やされた。 4月7日

水田睦美さん（看護師）より 4月6日

午前中は多賀城中学校の避難所で診療と各教室への往診に行きました。若い方は少なく子供さんや年配の方が多かったです。若い方は自宅の片付けや仕事に行かれています。午後からも同じ場所でした13時から自衛隊のお風呂があると聞いていたので足の悪い方や手がいる方のお手伝いをしようと思っていたら自衛隊が別の場所でお風呂を開設しそこへバスで行かれていたので夕方に自宅の片付けや仕事から帰られた方はお風呂に入りたかったと言われていました。学校の3階部分に避難されている年配の方は3週間お風呂に入っていないそうです。避難所によって温度差があります。入浴サービスはお湯がなくできませんがポットでお湯を沸かして足浴をしてまわりました。今日の夜に避難所の責任者の方にリサーチしていただいているので希望があれば年配の方に要望があった温かい食べ物（お粥？）を炊き出しをする予定です。

7日深夜に震度6の地震がありました、全員無事との連絡が入っています。

絹田貴大さん（事務）より

本日5時ごろ、坂総合病院に到着しました。移動は特に問題なく、これから病院の中のことを把握していくような段階です。明日より業務に入ります。 4月4日

東日本大震災募金集約 4/5現在

水島協同病院	1,284,883
玉島協同病院	772,439
健寿あかね	341,422
ふれあい診療所	150,448
南診療所	87,576
阿新医科・歯科	50,393
くらしき診療所	48,588
水島歯科診療所	136,081
真備歯科診療所	36,000
児島歯科診療所	55,890
くらしき歯科診療所	11,789
レインボー	20,300
介護事業部	36,725
健康事業部	153,253
総務部	349,000
労働組合	28,000
ちどり	51,836
合計	3,614,623

4月5～10日、引き続き宮城の坂総合病院（塩竈・多賀城地域）へ 組合第二次医療支援チーム5人が出発

本日早朝、組合の第二次医療支援チーム5人が、引き続き宮城県の坂総合病院に向け出発しました。東日本大震災から3週間が経過し、長町病院・松島海岸診療所の2施設を加えた三拠点へ全国支援が拡大されましたが、中四国は坂病院への支援が継続されます。今回は日本医師会の災害医療チームJMAT制度を活用し、行きについてはJAL便に無償搭載でき全日程分の保険もかけて頂きました。

出発に先立ち、4日午後5時過ぎより水島協同病院の講堂で壮行会が開催されました。里見院長が地元医師会の支援情報に触れながら病院を代表して挨拶を行い、参加者がそれぞれ決意を述べました。県連会長の太田先生が激励もかねて全日本の方針を報告、約60人の職員が大きな拍手で励ましました。終了後、臨時の対策本部会議が開催され、今後は介護支援も要請されていることから2週後の支援については、看護職2・介護職2・その他1の編成で支援を送ることになりました。（健寿・玉協中心に別途要請）

支援
チ
ム

原田幸枝 (医師)
水田睦美 (看護師)
川崎佑真 (看護師)
井上博和 (放射線技師)
絹田貴大 (事務) 敬称略

避難所での健康相談や医療活動など大奮闘

3月22日から宮城へ医療支援に行った6人は、避難所での健康相談や医療活動で大奮闘し、27日

坂クリニク前から避難所めざす



深夜に無事帰ってきました。平良看護師は、「避難所では食事の配給不足や衛生状態の改善が必要」と、現地の大変さを報告。宮原先生は坂総合病院で救急外来も行ったとのこと。事務もカルテ等の片付けや、避難所で足浴なども行いました。

東日本大震災 募金集約 3/31現在

水島協同病院	1,279,885
玉島協同病院	772,439
ふれあい診療所	150,448
南診療所	62,000
阿新診療所	15,000
くらしき診療所	39,000
水島歯科診療所	127,003
真備歯科診療所	36,000
阿新歯科診療所	8,000
児島歯科診療所	44,366
くらしき歯科診療所	11,789
レインボー	20,300
介護事業部	31,725
健康事業部	145,253
総務部	349,000
労働組合	28,000
合計	3,120,208



27日深夜に無事に帰着しました

宮城県 坂総合病院に向け 県連第二次医療支援チーム6人出発

東北地方を中心に東日本を襲った大地震から12日が経過し、なお行方不明の方々の安否はもちろんですが、後片付けや避難所生活での被災者の疲労がかなり強まっています。また、自らも被災しながら、つめかける患者対応を必死にしている坂総合病院の職員も、疲労が相当なものと考えられています。岩手にも北海道・青森・秋田の仲間が支援に入りましたが、それ以外の県連は引き続き宮城への支援となります。



3月22日の午後6時、組合としては第一次の医療支援である医師1名・看護3名・事務2名、計6名が被災地を目指し出発しました。出発に際しては杉山理事長が医療支援チームを激励、約170人の職員が送り出しました。6名は27日の昼過ぎまで現地で奮闘し、28日朝帰着予定です。

県連では当面次週を岡山から、4月4日の週に再び倉敷から医療支援を送ることにしています。第二次の職種別要請事業所は下記のとおりですので、ご準備をお願いいたします。

第一次医療支援チーム

〔敬称略〕

医師：宮原大輔

看護：内田洋子・平良亮介(水協)

長岡そのみ(あかね)

運転手・・・大林正志(水歯科)・尾崎勉(水協)

第二次支援チーム要請事業所

医師1名・・・水島協同病院

看護師・・・水島協同病院・玉島協同病院

事務(運転手)2名・・・車両の場合は要請

各事業所とも活発な募金活動はじまる

義援募金も各事業所で積極的に取り組みがはじまっています。22日までに集約された募金は水島協同病院で81万円あまり、玉島協同病院で57万円、組合事務所で21万円、水島歯科診療所では10万円とテンポも額もこれまでにない勢いで寄せられています。組合では、当面医療支援を継続的に進めていくこととあわせ、出来るだけ多くの義援募金を被災地に届けていく方針です。引き続き大きな運動にしていきましょう。支援物資については、自治体等に窓口が開設されていますので、そちらを活用してください。

組合に対策本部を立ち上げ当面の方針を決定

11日、東日本を襲った過去最大規模の地震による災害に対し、週明けの14日に専務声明で 救援募金箱を窓口に設置するなど募金活動の開始、 人的・物的支援の準備、 組合に対策本部の設置 ……を提起したところですが、16日に第1回対策本部会議を開催し、本部長に杉山理事長、事務局長に清瀬専務を選出し当面する救援方針を決定しました。

坂総合病院（宮城県）が地域医療センター 第一次医療支援チーム6人が22日に出発

塩竈市・多賀城市の合同対策会議で坂総合病院が2市の避難所80カ所、約1万人の被災者に行政や医師会と協力して医療面で責任を持って対応することが確認されました。全日本民医連も坂病院に対策本部を置き、医療福祉生協連と共同して全国支援を要請しています。

この要請に応え第一次の医療支援として、医師1名・看護師3名・事務2名、合計6名のチームを22日～27日まで送り出す予定です。県連では当面次週を岡山から、4月4日の週に倉敷から引き続き医療支援を送ることにしています。第二次の職種別要請事業所は下記のとおりですので、ご準備をお願いいたします。出発式も、みんなで送り出しましょう。

第一次医療支援チーム出発式

3月22日（火）18：00～

場所：水島協同病院前

チーム：宮原大輔・医師、内田洋子・看護師、平良亮介・看護師（水協）、長岡そのみ・看護師（あかね）
運転手…大林正志（水歯科）・尾崎勉（水協）

第二次支援チーム要請事業所

医師1名…水島協同病院

看護師…水島協同病院・玉島協同病院

事務（運転手）2名…全体から

積極的な募金をお願いします！〔組合に集中を〕

義援募金に積極的にご協力ください。募金の取り扱いについては、組合で統一した取り扱いとします。組合員さんから寄せられた募金については直接、出資金窓口でも取り扱います。事業所で集約した募金については、基本的には本支店振り替えで本部に集中してください。（経理課からの指示文書に従ってください。）